

令和 8 年度 足寄町立足寄小学校 学校経営方針

足寄町立足寄小学校長 池田 圭子

Ⅰ 教育目標・目指す子ども像及び令和 8 年度の重点目標

足寄町の子どもに育む資質・能力 ～小学校から中学校へ そして高校へ

多様な他者との関わりを基盤としたコミュニケーション能力の育成

足寄町立足寄小学校 学校教育目標

○進んで学ぶ子【知】 ○思いやりのある子【徳】 ○たくましい子【体】

【児童の声】

- 学校は楽しい
 - 良好な友人関係 もっと楽しみたい
 - 高い道德意識 思いやりのある人になりたい
 - 自分で進んで行動したい
 - ▲生活習慣・自己管理 ゲームの時間は…
 - ▲自分のよさは…
 - ▲大人(教師や親)に相談するのは…
 - ▲勉強は…読書はあまり…
- (学校評価、ウェルビーイングアンケートより)

【保護者の声】

- ◆自己肯定感の高い子に
自分も友達も大切できる子に
 - ◆自立した子に
自分で考えて行動できる子に
 - ◆生活習慣や運動習慣の確立を
 - ◆子供が相談できる環境を
- (学校評価、保護者面談等より)

【地域の願い】

- ◆規律正しい子に(挨拶・礼儀)
 - ◆望ましい生活習慣の確立を
 - ◆進んで学ぶ子に
 - ◆読書に親しむ子に
 - ◆コミュニケーション能力の高い子に
- (学校運営協議会等より)

【教職員の願い】

- ◆自分で考えて判断(自己決定)できる子に
 - ◆主体性を育みたい
 - ◆相手意識のある子、場に応じた行動ができる子に育てたい
 - ◆失敗してもあきらめずに取り組む力を育てたい
 - ◆不登校、生徒指導案件を減らしたい
 - ◆保護者とのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築きたい
 - ◆危機意識を高めたい
- (学校評価、検証改善ワークショップ、目指す子どもの姿アンケートより)

足寄町立足寄小学校 令和 8 年度 育成を目指す子どもの姿

自分で考え 自分で決めて 自分で行動できる子
～多様な他者と協働しながら「自立」と「自律」する力を基盤として～

主体性・自立心
(令和 7 年度:基礎・土台)

発展

やり抜く力

失敗や困難に直面しても目標
に向かって粘り強く取り組む力

他者意識

相手の立場を創造しながら
調和を築く力

「自立」と「自律」する力

2 学校教育目標、育成を目指す子どもの姿の達成に向けた具体的な方策（*令和8年度重点）

（1）進んで学ぶ子【知】

- *児童が自己決定や協働する等、学びながら（問いを育む）粘り強く主体的に学ぶ授業や生徒指導の機能を生かした授業への転換（研修部・学年団）
- ・体験的な学習活動や問題解決的な学習を通し、自らの意見を表明する機会を重視し、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりする教育活動の充実（SDGs・ESDの教育課程への反映）（教務部・学年団）
- ・一人一台端末を効果的に活用した、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、各教科等での学びをつなぎ探究するSTEAM教育への転換（教務部・研修部・学年団）
- *AI英会話ツールを活用し、12年間連携した英語活動を展開したグローバル人材の育成（英語教師推進CO・教務・学年団）
- *教育課程の連携や充実（こ・小・中・高連携）、検証改善サイクルの実質化・迅速化による教育の質の向上（教務部・学年団）
- *支援部（特別支援CO）チームを中心とした、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
- ・図書館等を活用し、国語科を中心とした読書活動の充実（教務部・学年団）

（2）思いやりのある子【徳】

- ・児童が主体的に取り組む学習規律や「そろえる指導」による望ましい学習習慣の確立と学習環境の整備（教務部・学年団）
- *自己や他者を大切に安全に関する指導（学校安全・交通安全・災害安全・リテラシー教育）や人権教育の充実（指導部・学年団）
- ・「考え議論する道徳科の授業（教育相談の機能を生かした授業含）」への転換及び道徳科を中心とした「B主として人とかかわりに関すること」に係る内容項目の指導の充実や「特別活動」を中心とした相手意識・寛容さの醸成（研修部・学年団）
- *各教科や特別活動を中心とした異学年交流の充実（共創型OJTチーム）
- *町内各こ小中高間で連携した教育活動の充実と滑らかな接続への取組の推進（教務部・管理職）
- ・いじめ対策委員会を中心としたいじめの組織的な認知及び対応の推進（いじめ対策組織）
- ・児童が主体となったいじめの未然防止及び根絶に向けた取組の充実（指導部・学年団）
- ・管理職や教務主任、指導部を中心とした相談支援体制の充実と生徒指導案件への組織的な対応
- *コミュニティ・スクールを基盤として、家庭や地域と主体的・協働的に課題を解決する組織体系を確立するとともに地域の関係機関との連携を教科し学びを深める。（管理職・各分掌・学年団）

（3）たくましい子【体】

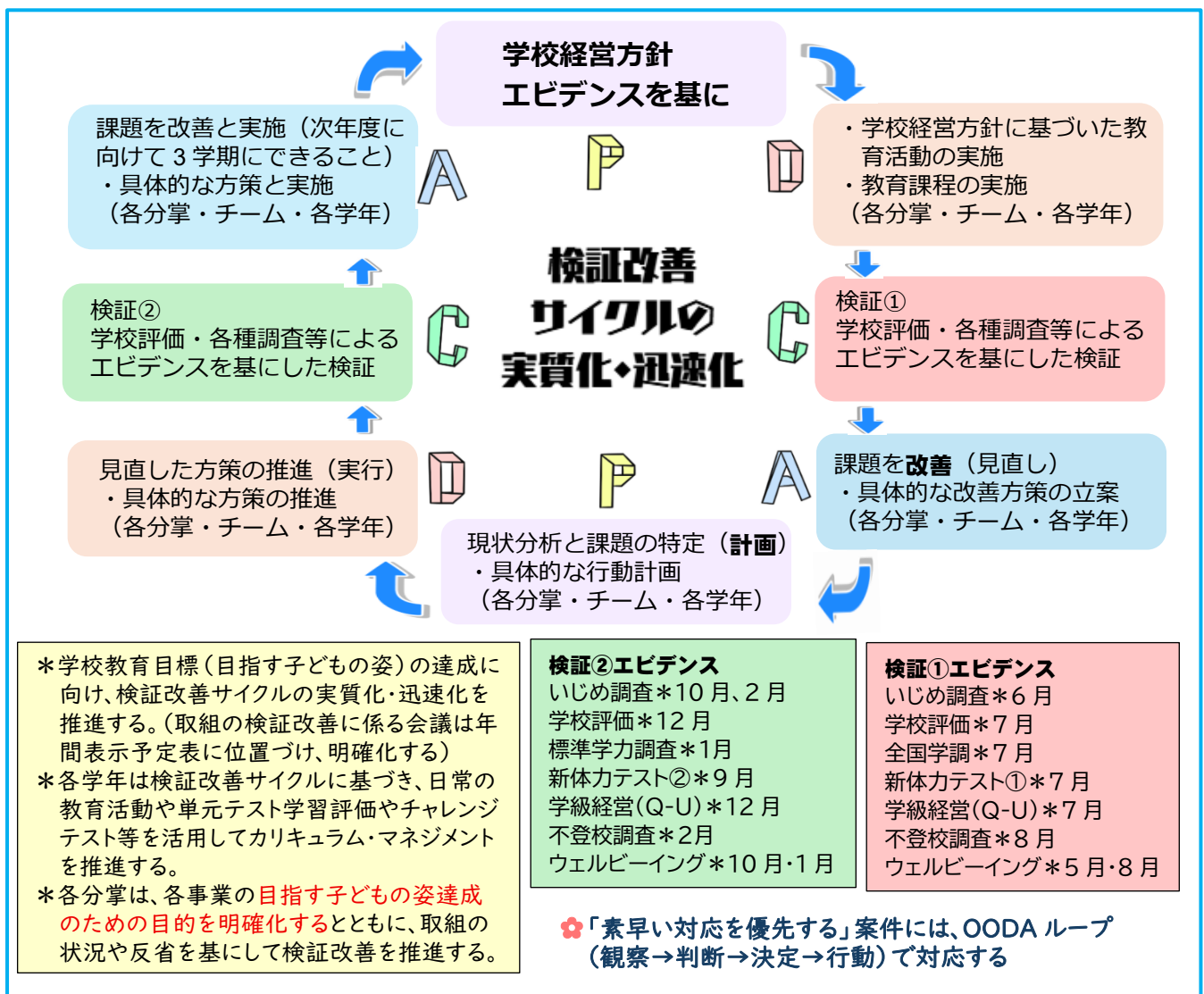
- ・児童が楽しみながら主体的に学ぶ体育授業への転換（保体部・学年団）
- ・児童が主体となって取り組む体力向上の取組の充実（保体部・学年団）
- *新体力テストを活用した体力の検証改善の取組の推進（保体部・中学校保健体育教諭の協力）
- *学校保健員会が中心となった家庭との望ましい生活習慣の見直しや健康教育の推進と啓発（保体部）
- *不登校対策委員会や校内教育支援会議等を活用し関係機関と連携した不登校児童への対応及び支援の充実

令和8年度 足寄小学校 育成を目指す子どもの姿
自分で考え 自分で決めて 自分で行動できる子
～多様な他者と協働しながら「自立」と「自律」する力を基盤として～

【令和8年度の重点を踏まえた児童の育成のために】



3 「育成を目指す子どもの姿」の実現による資質・能力の向上に向けて



検証改善サイクルの実質化・迅速化を確立し、全教職員で情報(評価結果・課題・改善・実施計画・実施)を共有し、同じゴールを目指し、同じベクトルで進んでいくとともに、
目標のゴール(ベクトル)の高さをそろえる(令和8年度の重点目標)

4 学校教育目標、育成を目指す子どもの姿の達成に向けた活動方針

(1) 目指す職場像 学びの機会を保障し質を高める環境の確立（「働きやすさ」と「働きがい」の両立）

活動方針: 育成を目指す子どもの姿の達成に向けて 「メンバーシップ」と「報告・連絡・相談」

1. 語ろう 「専門性を磨き、高め合う(対話と研鑽)」
互いの実践をリスペクトし、根拠(エビデンス)を持って語り合える集団
2. 極めよう 「質の高い仕事に責任を持つ(スピードと創造)」
「教育」という本業に誇りを持って向き合う集団
3. 挑もう 「探究し、知恵を共有する(挑戦と省察)」
失敗を恐れず挑戦し、その経験を組織の財産に変える集団、研修と研鑽を重ねる集団
4. 繋がろう 「強みを活かし、越境する(役割と相乗効果)」
役割を超えた連携で、一人ではできない教育価値(シナジー)を生み出す集団



目指す職場像(教師像)
～ウェルビーイングを感じる働きがいのある足寄小学校へ～
仲間に感謝！子どもに感動！
「個が輝き、共につくる。
正解を教える場所から、問いを育む場所へ」の進化

(2) 活動方針 信頼される学校づくりのために

- ・可能な限り学校を地域・家庭に開く(教育活動の周知と説明責任、CS、授業公開、各種行事等)
- ・安全・安心な学校(日常の点検、清掃、防災・防犯、交通安全、事故対応等、危機管理体制の確立)
- ・教育関係法令を遵守する(学校教育法、学習指導要領等)・服務規律の保持徹底(守秘義務、交通安全、体罰、セクハラ等)
- ・危機管理体制の確立 「プロアクティブの法則」を意識
(①疑わしいときは行動 ②最悪の事態を想定して行動 ③空振りは許されるが、見逃しは許されない)
(迷った時は保護者連絡、家庭訪問、管理職への報告・連絡・相談・確認の徹底)
- ・来客、電話対応の質の向上
- ・働き方改革の推進(「働きやすさ」と「働きがい」を両立させた学校運営体制の充実)
- ・各種帳簿類の整理・点検・管理の徹底
- ・「北海道における教員育成指標」に基づく教員の資質能力の向上(OJT、メンター研修(足小Tタイム)、共創型OJT)

(3) その他「教職員が生き生きと働くために」～「人づくり町構想」を基盤として

「子どもたちの些細な変化もキャッチし、
みんなで一人一人の子どもの健やかな成長を育む」



「教員が心身共に健康で、幸せでなければ、
子どもたちの変化に気づけない」



心理的安全性
心理的柔軟性の
高い職場にしよう！



ウェルビーイング
の向上

「メンバーシップ」と「報告・連絡・相談」を大切に！

- ①心理的安全性の高い職場づくりを重点的に推進!【人づくり町構想を基盤】
- ②よいと思うことは自分から【率先垂範】
- ③児童に教育的愛情を注ぎましょう!共に学ぼう!【師弟同行】
(児童が安心し、成長への第一歩へ)⇒教育の質の向上へ
- ④質の高いリフレッシュ(心身の健康を大切に)↔質の高い仕事
- ⑤自分を支えてくださる方々を大切に!(家族・友人・地域・保護者等)